令和7年 第2回臨時会

南種子町議会臨時会 会議録

令和7年4月30日 開会

令和7年4月30日 閉会

南 種 子 町 議 会

令和7年第2回南種子町議会臨時会目次

第1号（4月30日）（水曜日）

1. 開 会	4
1. 開 議	4
1. 日程第1 会議録署名議員の指名	4
1. 日程第2 会期の決定	4
1. 日程第3 提案理由の説明	4
町長説明	4
1. 日程第4 承認第1号 専決処分した事件の承認について [南種子町税条例の一部を改正する条例]	6
税務課長説明	6
質疑	7
討論	7
採決	8
1. 日程第5 承認第2号 専決処分した事件の承認について [令和6年度南種子町一般会計補正予算 (第11号)]	8
総務課長説明	8
質疑	10
4番 福島照男議員	10
8番 上園和信議員	14
討論	14
採決	14
1. 日程第6 承認第3号 専決処分した事件の承認について [令和6年度南種子町国民健康保険事業 勘定特別会計補正予算(第5号)]	15
くらし保健課長説明	15
質疑	16
8番 上園和信議員	16
討論	16
採決	17
1. 日程第7 承認第4号 専決処分した事件の承認について [令和6年度南種子町介護保険特別会計	

	補正予算（第6号）]	17
	くらし保健課長説明	17
	質疑	18
	討論	18
	採決	18
1.	日程第8 承認第5号 専決処分した事件の承認について [令和6年度南種子町後期高齢者医療保 険特別会計補正予算（第5号）]	18
	くらし保健課長説明	19
	質疑	19
	討論	20
	採決	20
1.	日程第9 議案第29号 南種子町職員の特殊勤務手当に関する条 例の一部を改正する条例制定について	20
	総務課長説明	20
	質疑	20
	4番 福島照男君	21
	8番 上園和信君議員	24
	討論	24
	採決	24
1.	日程第10 議案第30号 南種子町水道事業職員の特殊勤務手当 に関する条例の一部を改正する条例制 定について	25
	建設課長説明	25
	質疑	25
	討論	25
	採決	25
1.	休 憩	26
1.	日程第11 議案第31号 令和7年度一般会計補正予算（第1号）	26
	総務課長説明	26
	質疑	27
	4番 福島照男議員	27
	8番 上園和信議員	28
	9番 濱田一徳議員	30

4番 福島照男議員	30
2番 野首久教議員	32
4番 福島照男議員	32
9番 濱田一徳議員	33
討論	33
採決	33
1. 日程第12 議案第32号 令和7年度南種子町国民健康保険事業 勘定特別会計補正予算(第1号)	34
くらし保健課長説明	34
質疑	34
討論	35
採決	35
1. 日程第13 議案第33号 令和7年度南種子町介護保険特別会計 補正予算(第1号)	35
くらし保健課長説明	35
質疑	35
討論	35
採決	36
1. 日程第14 議案第34号 令和7年度南種子町後期高齢者医療保 険特別会計補正予算(第1号)	36
くらし保健課長説明	36
質疑	36
討論	36
採決	37
1. 日程第15 議案第35号 令和7年度南種子町水道事業会計補正 予算(第1号)	37
建設課長説明	37
質疑	37
討論	37
採決	38
1. 日程第16 同意第1号 固定資産評価員の選任について	38
町長説明	38
質疑	38
討論	38

採決	38
1. 休憩	39
1. 日程第17 選任第1号 常任委員の選任	39
1. 日程第18 選任第2号 議会運営委員の選任	40
1. 日程第19 選挙第1号 中南衛生管理組合議会議員の選挙	40
1. 日程第20 選挙第2号 公立種子島病院組合議会議員の選挙	41
1. 日程第21 選挙第3号 熊毛地区消防組合議会議員の選挙	41
1. 日程第22 選挙第4号 種子島産婦人科医院組合議会議員の選挙	42
1. 閉会	43

令和7年 第2回 南種子町議会臨時会

第 1 日

令和7年4月30日

令和7年第2回南種子町議会臨時会会議録

令和7年4月30日（水曜日） 午前10時開議

1. 議事日程（第1号）

- 開会の宣告
- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 会期の決定
- 日程第3 提案理由の説明
- 日程第4 承認第1号 専決処分した事件の承認について
[南種子町税条例等の一部を改正する条例]
- 日程第5 承認第2号 専決処分した事件の承認について
[令和6年度 南種子町一般会計補正予算（第11号）]
- 日程第6 承認第3号 専決処分した事件の承認について
[令和6年度 南種子町国民健康保険事業勘定特別
会計補正予算（第5号）]
- 日程第7 承認第4号 専決処分した事件の承認について
[令和6年度 南種子町介護保険特別会計補正予算
（第6号）]
- 日程第8 承認第5号 専決処分した事件の承認について
[令和6年度 南種子町後期高齢者医療保険特別会
計補正予算（第5号）]
- 日程第9 議案第29号 南種子町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する
制定について
- 日程第10 議案第30号 南種子町水道事業職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を
改正する制定について
- 日程第11 議案第31号 令和7年度南種子町一般会計補正予算（第1号）
- 日程第12 議案第32号 令和7年度南種子町国民健康保険事業勘定特別補正予算
（第1号）
- 日程第13 議案第33号 令和7年度南種子町介護保険特別会計補正予算（第1号）
- 日程第14 議案第34号 令和7年度南種子町後期高齢者医療保険特別会計補正予算
（第1号）
- 日程第15 議案第35号 令和7年度南種子町水道事業会計補正予算（第1号）
- 日程第16 同意第1号 固定資産評価委員の選任について

- 日程第17 選任第1号 常任委員の選任
- 日程第18 選任第2号 議会運営委員の選任
- 日程第19 選挙第1号 中南衛生管理組合議会議員の選挙
- 日程第20 選挙第2号 公立種子島病院組合議会議員の選挙
- 日程第21 選挙第3号 熊毛地区消防組合議会議員の選挙
- 日程第22 選挙第4号 種子島産婦人科医院組合議会議員の選挙
- 閉会の宣告

2. 本日の会議に付した事件

- 議事日程のとおり

3. 出席議員 (10名)

1番	川内田 行 博 議員	2番	野 首 久 教 議員
3番	平 畠 強 議員	4番	福 島 照 男 議員
5番	名 越 多喜子 議員	6番	柳 田 博 議員
7番	大 崎 照 男 議員	8番	上 園 和 信 議員
9番	濱 田 一 徳 議員	10番	塩 釜 俊 朗 議員

4. 欠席議員 (0名)

5. 出席事務局職員

局 長 西 村 一 広 書 記 河 野 彰 子

6. 地方自治法第121条の規定により説明のため出席した当局職員の職氏名

職 名	氏 名	職 名	氏 名
町 長	小 園 裕 康	副 町 長	小 脇 隆 則
教 育 長	菊 永 俊 郎	総務課長兼 選挙管理委員会 事務局 長	木 田 美 幸
会計管理者 兼会計課長	河 野 和 昭	企 画 課 長	立 石 勝 行

くらし保健課長 外園 幸喜

税務課長 小川 浩輝

建設課長 河野 容規

教育委員会管理課長
兼給食センター所長 立石 拓也

農業委員会
事務局 才川 いずみ

福祉事務所長 岩元 浩美

総合農政課長 山田 直樹

保育園長 鮫島 幸紀

教育委員会
社会教育課長 濱田 伸一

△ 開 会 午前10時00分

開 議

○議長（塩釜俊朗議員） ただいまから、令和7年第2回南種子町議会臨時会を開会いたします。

これから本日の会議を開きます。本日の議事日程は、お手元の日程表のとおりであります。質疑については、議会会議規則及び議員申し合わせ事項などルールを厳守してお願いをいたします。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（塩釜俊朗議員） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は会議規則第125条の規定によって、3番、平畠 強議員、4番、福島照男議員を指名します。

日程第2 会期の決定

○議長（塩釜俊朗議員） 日程第2、会期の決定についてを議題とします。

お諮りします。本臨時会の会期は本日1日間にしたいと思います。御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（塩釜俊朗議員） 異議なしと認めます。したがって、会期は本日1日間に決定しました。

日程第3 提案理由の説明

○議長（塩釜俊朗議員） 日程第3、町長提出の承認第1号から承認第5号、議案第29号から議案第35号、並びに同意第1号の計13件を一括上程します。

提案理由の説明を求めます。町長。

[小園裕康町長登壇]

○町長 それでは提案理由についてご説明を申し上げます。

今回の臨時議会に提案をいたしました案件は、専決処分をいたしました条例案件1件、同じく専決処分した予算案件4件、条例案件2件、予算案件5件、人事案件1件の計13件でございます。

それでは、承認案件から順次、要約してご説明を申し上げます。

承認第1号は、地方税法等の一部を改正する法律が令和7年3月31日に公布され、同年4月1日に施行されたことに伴い、南種子町税条例の一部改正を行ったものにつ

いて承認を求めるものでございます。

承認第2号から承認第5号の4件は、令和6年度一般会計及び3つの特別会計について、国県支出金の地方譲与税、特別交付税等の歳入確定並びに事業完了による歳出確定等に伴い、最終補正を行ったものについて承認を求めるものでございます。

議案第29号及び議案第30号は、南種子町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例制定についてでございます。宇宙のまち南種子「SPACE TOWN 南種子」として、今後ロケット打ち上げ回数の増加などや外国衛星の受注増などが見込まれることから、しっかりとロケット打ち上げなど、宇宙開発の支援に向け、本町の支援体制を構築するため、またロケットコンテストなど各種イベント業務などにも対応するため、全職員が協力をして従事することを目的にスペースサポート手当を、特殊勤務手当に追加する改正でございます。

議案第31号は令和7年度南種子町一般会計補正予算第1号でございます。ただいま説明をいたしました南種子町職員及び水道事業職員の特殊勤務手当や人事異動に伴う人件費の調整、それから令和7年度に町内小学校、中学校特別支援学校に入学をする児童生徒を扶養している保護者に対する、物価高騰対策子育て応援給付金事業465万円や、子牛の購買者の輸送支援を行うことで、本土と変わらない条件下での本町の子牛の販売価格の向上を目指すために、子牛輸送支援事業426万4,000円などが主なものでございまして、補正総額484万1,000円を減額し、74億6,315万9,000円とするものでございます。

議案第32号は、令和7年度南種子町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算第1号でございます。人事異動に伴う人件費の補正が主なもので217万6,000円を追加し、7億8,417万6,000円とするものでございます。

議案第33号は、令和7年度南種子町介護保険特別会計補正予算第1号でございます。人事異動に伴う人件費の補正が主なもので、537万7,000円を減額し、6億8,462万3,000円とするものでございます。

議案第34号は、令和7年度南種子町後期高齢者医療保険特別会計補正予算第1号でございます。人事異動に伴う人件費の補正が主なもので、96万5,000円を追加し、1億866万5,000円とするものでございます。

議案第35号は、令和7年度南種子町水道事業会計補正予算第1号でございます。人事異動に伴う人件費の補正が主なもので、収益的支出を1,028万4,000円減額するものでございます。

次に、人事案件についてご説明を申し上げます。

同意第1号は、固定資産評価委員の選任についてでございます。税務課長の人事異動に伴い、議会の同意を求めるものでございます。

以上、議案の説明を終わりますが、詳細につきましては、議案審議の折に担当課長から説明申し上げますので、よろしくご審議方お願いを申し上げます。

○議長（塩釜俊朗議員） これで提案理由の説明を終わります。

日程第4 承認第1号 専決処分した事件の承認について

[南種子町税条例の一部を改正する条例]

○議長（塩釜俊朗議員） 日程第4、承認第1号専決処分した事件の承認についてを議題とします。当局の説明を求めます。税務課長。

○税務課長 承認第1号について御説明申し上げます。

承認第1号は、専決第1号南種子町税条例の一部を改正する条例の制定について、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分しましたので、同条第3項の規定によりこれを報告し、承認を求めるものでございます。

今回の改正は、現下の経済情勢を踏まえ、個人住民税の特定親族特別控除の創設など、地方税法及び地方税法等の一部を改正する法律の一部を改正する法律、令和7年法律第7号が令和7年3月31日に公布され、原則として同年4月1日に施行されたことに伴い、所要の改定を行ったものです。

それでは、新旧対照表でご説明いたしますので、新旧対照表1ページをお開きください。

まず、第18条は公示送達について、インターネットを用いる方法の定義を示した省令改正に伴い、規定の整備を行うものです。

次に、第18条の3は第18条の改正に伴い、規定の整備を行うものです。

次に、第34条の2は地方税法の改正に伴い、町民税における所得控除について、就業調整対策の観点から、大学生年代の子などに係る新たな控除として特定親族特別控除を創設し、規定の整備を行うものです。

次に、第36条の2は地方税法の改正により住民税の申告について特定親族特別控除の創設に伴う公的年金等受給者の個人住民税申告義務に係る規定の整備を行うものです。

次に、2ページの同条第10項は、マイナンバーの利用可能事務を拡大するための行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の改正により、規定の整備を行うものでございます。

3ページ、第36条の3の2は、地方税法の改正により給与所得者が年末調整で扶養控除の適用を申告するために必要な給与所得者の扶養控除申告書について特定親族を追加し、規定の整備を行うものです。

次に、第36条の3の3は特定親族特別控除の創設に伴い、公的年金受給者の扶養

親族等申告書に係る提出義務規定の整備を行うものです。

4 ページ、第 63 条の 2 は行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の改正により規定の整備を行うものです。

次に、第 82 条は軽自動車税種別割の標準税率の区分見直しに伴い、総排気量 125cc 以下で、最高出力を 4 キロワット以下 50cc 相当に制御したバイク、いわゆる新基準、原付バイクに係る軽自動車税種別割の税率を年額 2,000 円、50cc 原付と同額とする規定の整備を行うものです。

5 ページ、第 89 条は行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の改正及び軽自動車税種別割の標準税率の区分見直しに伴う減免申請書の記載事項に係る規定の整備を行うものです。

6 ページ、第 90 条は道路交通法の改正により、マイナ免許証の運用開始に伴う減免申請時の運転免許証の提示義務に係る規定の整備を行うものです。

7 ページ、第 139 条の 3 及び第 147 条は、行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の改正により、規定の整備を行うものです。

8 ページ、附則第 10 条の 2 は固定資産税の課税標準の特例について条例で定めていますが、法律の改正により規定の整備を行うものです。

次に、附則第 10 条の 3 は大規模の修繕等が行われたマンションに係る固定資産税の減額措置について、当該措置に係る申告書の提出がなかった場合においても、マンションの管理の適正化の推進に関する法律に規定する管理組合の管理者から必要書類が提出され、かつ、当該マンションが当該減額措置の要件に該当すると認められるときは、当該減額措置を適用できる規定を追加したものです。

9 ページ、改正前の附則第 10 条の 4 及び 10 ページの附則第 10 条の 5 は、平成 28 年熊本地震、平成 30 年 7 月豪雨に係る固定資産税の特例について、法律改正に伴い、課税標準の特例措置を廃止するものです。

12 ページ、附則第 10 条の 4 は、前条の廃止に伴い、規定の整備を行うものです。

13 ページ、附則第 16 条の 2 の 2 は、令和 8 年 4 月 1 日以後の売渡し、または消費等が行われた加熱式たばこに係る町たばこ税の課税標準について、国のたばこ税における見直しに伴い、所要の規定を加えるものです。

以上簡単ですが説明を終わります。御承認方よろしくお願いいたします。

○議長（塩釜俊朗議員） これから質疑を行います。質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（塩釜俊朗議員） 質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（塩釜俊朗議員） 討論なしと認めます。

これから承認第1号を採決します。

お諮りします。本案は、これを承認することに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（塩釜俊朗議員） 異議なしと認めます。したがって、承認第1号は、これを承認することに決定しました。

日程第5 承認第2号 専決処分した事件の承認について

[令和6年度南種子町一般会計補正予算（第11号）]

○議長（塩釜俊朗議員） 日程第5、承認第2号専決処分した事件の承認についてを議題とします。

当局の説明を求めます。総務課長。

○総務課長 それでは、ご説明申し上げます。

承認第2号は、専決第2号で処理した令和6年度南種子町一般会計補正予算（第11号）についてであります。

町長が提案理由でも述べましたように、歳入予算については各収入の確定等に伴う予算の調整で、歳出予算については各事業の確定、執行残及び不用額の減額など、予算の最終調整を行い、専決処分したものであります。

それでは、予算書に基づいて説明をいたします。表紙をお開きください。

今回の補正は、予算の総額から歳入歳出それぞれ1億8,127万7,000円を減額し、予算の総額を歳入歳出それぞれ71億2,755万9,000円とするものであります。

第1表の歳入歳出予算補正については省略をさせていただきます。

次に4枚目をお開きください。

第2表の繰越明許費補正については、追加4件、変更1件であります。

まず、民生費、物価高騰対策支援給付金事業につきましては、国の令和6年度補正予算で行われているもので、申請期限が令和7年8月末までとなっていることから、繰り越すものであります。

次に、農林水産業費、堆肥センター車両購入事業から消防費、消防ポンプ車購入事業の3件につきましては、部品供給の不足や排ガス規制等の強化の影響を受けたことによる車両製造の遅れにより納期内納入ができないため繰り越しをするものであります。

なお、この3件につきましては再編交付金を活用した事業でありまして防衛省による繰越承認はすでに出ているものになります。

次に災害復旧費、現年発生補助災害復旧事業については、入札執行等に伴い変更をするものでございます。

次のページ、第3表の債務負担行為補正につきましては、廃止が1件、変更2件でございます。

まず廃止のマイクロバス、リース料につきましては、自動車メーカーによるマイクロバス製造開始のめどが立たないため、廃止をするものであります。

次に、変更2件につきましては、入札執行等に伴い、限度額をそれぞれ変更するものであります。

次のページ、第4表地方債補正につきましては、今回補正に計上の各事業について財源調整を行い、計4件の限度額をそれぞれ変更するものでございます。起債の方法、利率、償還の方法につきましてはお目通しをお願いいたします。

次に、歳入歳出補正予算事項別明細書により説明をいたします。

まず、歳出予算から主なものについて説明をいたします。歳出予算については、各事業の確定、執行残及び不用額の調整となります。

それでは、17ページをお開きください。

まず、17ページから23ページ、総務管理費につきましては、ふるさと納税受注管理等業務手数料の減額が主なもので、4,655万9,000円を減額するものであります。

次に、24ページから27ページ、社会福祉費につきましては、障害者自立支援給付費などの扶助費の減額が主なもので、1,722万円を減額するものであります。

次に、30ページから32ページ、保健衛生費につきましては、定期予防接種業務委託の減額が主なもので、726万5,000円を減額するものであります。

次に、33ページから38ページ、農業費については、肥料飼料価格高騰対策事業の減額が主なもので、2,896万5,000円を減額するものであります。

次に同ページ、林業費につきましては、戦略産品輸送支援事業補助金の減額が主なもので、689万8,000円を減額するものであります。

次に39ページ、水産業費については、管理局区域変更申請業務委託の減額が主なもので、681万3,000円を減額するものであります。

次に、41ページ、土木管理費については、県営事業負担金の減額が主なもので552万8,000円を減額するものであります。

次に44ページから45ページ、消防費につきましては、熊毛地区消防組合負担金の減額が主なもので、1,864万2,000円を減額するものであります。

次に、55ページ、繰出金については国民健康保険特別会計の減額が主なもので、1,048万6,000円を減額するものであります。

次に56ページ、南種子宇宙のまち応援基金積立金については、2,351万6,000円

を減額し、3,278万4,000円を基金に積み立てるものであります。

次に、57ページ、南種子町企業立地促進基金積立金については、2,255万円を基金に積み立てるものでございます。

以上が歳出になります。

次に、歳入を説明いたしますので、3ページをお開きください。

歳入予算については、各収入の確定等に伴う調整となります。

まず、町税につきましては、収納見込みによるもので町民税2,051万9,000円、固定資産税830万円を増額するものであります。

次に同ページ、地方譲与税から5ページ、交通安全対策特別交付金については、交付決定に基づくものであります。

次に同ページ、分担金及び負担金から7ページ、使用料及び手数料につきましては、実績見込み等によるものでございます。

次に、同ページから9ページの国庫支出金については、事業の確定等に伴うもので、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の減額が主なものでございます。

次に、同ページから11ページ、県支出金については事業の確定等に伴うもので、高齢者地域支え合いグループポイント事業補助金の減額が主なものでございます。

次に、12ページ、寄付金につきましては、ふるさと応援寄付金の実績見込み等によるもので、4,284万円を減額するものであります。

次に、同ページから13ページ、繰入金については、歳入決定や不用額等の減額に伴い、合計で1億9,389万1,000円を各基金へ繰り戻すものでございます。

次に、14ページから15ページ、諸収入の雑入につきましては、町村有建物共済災害協賛金の減額が主なもので、435万3,000円を減額するものであります。

最後に同ページから16ページ、町債につきましては、各事業費の確定等に伴い調整をするもので650万円を減額するものです。

以上で説明を終わります。御承認方よろしくお願いいたします。

○議長（塩釜俊朗議員） これから質疑を行います。

質疑は、歳出、歳入、繰越明許費、債務負担行為補正、地方債補正の順に区分をして行います。

まずは、歳出、17ページから57ページまで質疑はありませんか。4番、福島照男議員。

○4番（福島照男議員） 35ページ、農林水産費の項目でですね。園芸施設資材等導入支援事業が執行残で222万7,000円というふうになっております。

当初予算はこれ822万なにかがしだったわけですが、これが執行残となっております。7年度もですねこれ783万円の予算を計上しております。要はですね、園芸、農

家からは我々園芸農家にも積極的な支援をしていただきたいと要望するような声も聞くわけでありまして、本町の園芸振興にはやっぱりこれからも力を入れていかなければならない分野であるんですが、この執行残に当たった要因ですね、こういうのはもう、100%消化していただいでですね、農家のためにどんどん使っていただいで生産に励んでいただきたいというふうに思ってるわけですが、この4分の1の予算が執行残になった。経緯、要因等についてお聞かせください。

○議長（塩釜俊朗議員） 総合農政課長。

○総合農政課長 答えをいたします。園芸施設資材等導入支援事業につきましては、前年度に園芸振興会等に対して、大体どれくらい予算が必要なのか、計画があるのかハウスを建てたり、それからハウスの資材購入したりする助成なんですけど、それを一旦聞いて予算を立てます。

これについては、農家からの申請があつて、実績でこれだけ減額してるということで、当初予定していたものが実際は農家の方で実施しなかったとかそういう理由で減額されております。

○議長（塩釜俊朗議員） 町長。

○町長 少し補足をいたしますけれども、今、課長から言われましたように、概算で予算を組むときにはそれなりの振興会からのお話をお聞きをいたします。

これは、他の事業も一緒ですけれども、実際事業を執行してみますと、なかなかすべてがそういうふうに申請が出てこないという状況であります。この園芸、そしてまた果樹の方についても、以前からなかなかこういった部門に対する補助制度がないということは言われておりました。

それは私どももこの離島においては、鹿児島県本土と違ひまして、この桜島の降灰対策の補助であつたりこういったものが全然適用になりません。

そういうことから、非常に不利なもともとスタートラインからの生産を励んでいるわけでありましてけれどもそういうことも踏まえて、何とか同じ土俵の中でしっかりとやっぱり勝負できるそういう或いは作るべきだろうということで、一昨年からこういう補助制度を単独で実施をすることとしてきております。

そしてまた、ご理解をいただいで、これに取り組まれる方については今積極的に取り組んできておりますが、なかなか補助についても希望するように十分補助率を上げてるわけでありましてけれども、ここはもっともっとしっかりと周知をし、そして皆さんが意欲を持って取り組めるような方向というのは農政を中心に、また周知はして参りたいというふうに思います。

○議長（塩釜俊朗議員） 4番、福島照男議員。

○4番（福島照男議員） 確かこれ補助率は3分の2町負担で3分の1が確か生産者負担

だったかと思うんですが。非常にいい補助制度であります園芸振興の上では積極的に利用していただきたいんですが、その使い勝手の問題もあるのかもしれませんが、やっぱりそこら辺も含めてね、園芸農家が利用しやすいような形、あとは積極的に導入に向けた提案等に向けてもですね、やっぱり働きかけてですね、逆に予算が足らんというぐらいにやっぱりなっていないとなかなかこの分野は発展しづらいということですのでね、町長から答弁もありましたように再度ですね、ここにもうちょっとこう力を傾注していただいてですね園芸振興には取り組んでいただきたいなと7年度予算700幾らだったかね、783万円予算計上しておりますので、執行残がならず補正で、強化するぐらいのですね、勢いで取り組んでいただきたいというふうをお願いをして終わります。答弁は要りません。

○議長（塩釜俊朗議員） 他に質疑ありませんか。

次に歳入、3ページから16ページまで質疑はありませんか。4番、福島照男議員。

○4番（福島照男議員） ふるさと納税の寄付金が当初予算の1億から4,500万のマイナス計上と結果としてありました。

当初、前半はですね、いい伸びを経たのもっと数字が伸びるかなあというふうに期待をしておったんですが、後半なかなか伸びてこなかったなあというには非常に残念に思っているところです。

7年度も計画しておりましてですね、これは前から一般質問でも町長に答弁をいただいているように、全力で今取り組んでるという報告はいただいておりますが6年度の反省を踏まえてですね、これ7年度に向けて予算達成ということにはぜひ挑んでいただきたいわけですが、所管課として、6年度の反省を踏まえてですね、7年度新たな取り組み等に着手しておればですね、報告をお願いいたします。

○議長（塩釜俊朗議員） 企画課長。

○企画課長 お答えします。ただいまお話がありましたように6年度の実績もあるところですが、令和7年度についても、新たな製品の開発等の取り組みを開始していく等のできる限り納税額が上がっていけるように努力をしていきたいと考えております。

○議長（塩釜俊朗議員） 町長。

○町長 少し補足をおきます。

7年度は、つい先日、今私どもと一緒に取り組んでいただいております協定を結んでおる、簡単な企業がございますが、なかなか非常に伸び悩んでいるところがありまして、ここにてこ入れをしようということで、私どもの町のこの安納芋を使ったりそれから有機のお茶を栽培してる農家がございます。

そしてまた、いろんな素材がここに赤米だってありますので、これを使った産品を現在開発をしていただいております。先日、この試作品ができて、これは関東

でちょっと世界的にも有名なパティシエさんをご紹介いただきましたので、5・6点ほど作品その何ていうのか、でき上がりまして、それについては、試食をさせていただきました。その中で非常に面白いものがいろいろありまして、これはちょっと高価なものになるんですけども、安納芋も使ったものそれからお茶のものとかお土産にもいいような形でできるんじゃないかというものがありましたので、こういうものがしっかりと商品化されて、そして、うちの方からふるさと納税にも載せたり、お土産とかそういうものに活用できればなというふうに思っております。

そしてまた、この納税の方も、こちらの方で頑張ってくださいしておりますけれども、今鹿児島のあるこのふるさと納税、そしてまたいろいろ分析をされる場所があります。ここが鹿児島市ではなくてですね市外の方ですけども、非常にこのネットでやったり、ネット販売であったり、いろんなもので、農産品とか、自社でいろんな商品開発もされている場所がありまして、ご紹介いただいた方々から私とアポを取っていただいて、先般うちの町に来ていただきました。

そこで、いろいろお話をしまして、現在の私どもでやってる企業の方と一緒にここがタッグを組んで何か良い形で、お互いにちょっといい部分を補いながら、これ伸ばせる方向でできないかということをお話しているところでありまして、ここはそういう取り組みができれば、非常にまた可能性はあるのかなというふうに思ったりはしているところであります。

何分にも、現在のところ昨年からは、ふるさと納税の企業版の方を職員の方で対応頑張って参りました。

今月の頭にもちょっと東京に行ったときに、その延長でまたお話もして参りまして、また、そのふるさと納税の企業関係をしているところからご紹介をいただいたところにも足を運ばせていただきましたが、早速そこについても、今年度ふるさと納税の企業版についても、引き続きやっていただけるということで、そういうものも含めてですね、何とかしっかり7年度、実績が伸びますように努力をして参りたいと思います。

○議長（塩釜俊朗議員） 3ページから16ページまで、他に質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（塩釜俊朗議員）次に、第2表繰越明許費、質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（塩釜俊朗議員）次に、第3表債務負担行為補正質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（塩釜俊朗議員）次に、第4表地方債補正質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（塩釜俊朗議員）次に、全般にわたって質疑ありませんか。

8番、上園和信議員。

○8番（上園和信議員） 議案を、私がいただいたのは、4月の28日の午後4時30分頃、私いただいたんですよ。それでこの資料に、議案書に目をとおしてひとどおり、各担当課にお尋ねをすることもできなかったという状況で、29日は昭和の日で、休日です。今日迎えたわけですよ。ということでですね私、前回もお願いをしていたんですけど、この議案書の配布をですね、早めてもらえないかと言うことでお願いをしたいと思っの質疑でございます。

議会の招集は、町長が招集することになってますので、なんか今日、議会運営委員会も今日、午前中9時ごろに開いたということで、議会運営委員会の審議もしていないもので、早めに議案も配布されたということになります。でですねお願いですが、町長と議長が話し合いを持ってですね、なるべく早く、この議案書も提出をしていただく。

定例会議については、7日に開会、議会開会7日前に議会運営をするという規定がありますが、臨時会についてその規定もないようですので、町長と議会とか話し合いを持って、2、3日前までには配慮していただけないかという質疑です。

○議長（塩釜俊朗議員） 町長。

○町長 お答えをいたします。議員からありましたように、定例会については1週間ほど前ということでそれを対応させていただいてると思っております。今回も臨時会については、私もこれは3日前までの配布というふうなことは私も頭にありますので、どういうことで28日配布。今回ちょっと私も出張でしたから、配布日がちょっとそんなに短くてということに28日議案が配られたということのようですけれども、そこについては、ちょっと理由が何だったのかちょっとわかりませんが、はい。それはそのように、今後しっかりとやりたいと思っておりますので、大変申し訳なかったと思っております。

○議長（塩釜俊朗議員） 他に質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（塩釜俊朗議員） 質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（塩釜俊朗議員） 討論なしと認めます。

これから承認第2号を採決します。

お諮りします。本件はこれを承認することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（塩釜俊朗議員） 異議なしと認めます。したがって、承認第2号は、これを承認

することに決定しました。

日程第6 承認第3号 専決処分した事件の承認について

[令和6年度南種子町国民健康保険事業勘定特別会計
補正予算(第5号)]

○議長(塩釜俊朗議員) 日程第6、承認第3号専決処分した事件の承認についてを議題とします。

当局の説明を求めます。くらし保健課長。

○くらし保健課長 承認第3号についてご説明申し上げます。

承認第3号は、専決第3号で処分した、令和6年度南種子町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第5号)でございます。

表紙をお開きください。

今回の補正は、歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ4,275万6,000円を減額し、予算の総額を歳入歳出それぞれ8億284万4,000円とするものでございます。

第1表の歳入歳出予算補正につきましては、省略させていただきます。

次に、歳入歳出補正予算事項別明細書により、主なものについてご説明いたします。まず、歳入予算から御説明いたしますので、3ページをお開きください。

款の1国民健康保険税につきましては、賦課更正によるもので、75万7,000円を減額するものでございます。

次に、款の4使用料及び手数料につきましては、督促手数料の収納見込みに伴うもので8万9,000円を減額するものでございます。

次に、款6県支出金の保険給付費等交付金につきましては、それぞれの交付決定に伴い、4,014万3,000円を減額するものでございます。

次に、款の10繰入金につきましては、一般会計繰入金及び国民健康保険基金繰入金の実績に伴い、繰入金合計で304万3,000円を減額するものでございます。

次に、款の12、諸収入の延滞金及び加算金につきましては、実績に伴い、20万7,000円を増額するものでございます。

次に、預金利子につきましては、4,000円を増額するものでございます。

5ページをお開きください。

歳入につきましては、社会保険取得後に国保の脱退手続きを行わず、そのまま誤って国保の保険証を使用したことによる社保からの不当利得返納金が主なもので、106万5,000円を増額するものでございます。

次に、歳出をご説明いたします。

6ページをお開きください。

款の1、総務費につきましては、執行残によるもので、総務費合計で36万2,000円を減額するものでございます。

次に、款の2、6ページから7ページでございますが、保険給付費につきましては、項の1療養諸費から項の5葬祭費まで給付実績に伴うもので、保険給付費合計で4,112万1,000円を減額するものでございます。

次に、款の6、7ページから8ページ。保健事業費につきましては、保健各種保健事業や特定健康審査等事業の実績に伴うもので、保健事業費合計で78万1,000円を減額するものでございます。

次に、款の8公債費につきましては、5万円を減額するものでございます。

次に、款の9、諸支出金につきましては、保険税の過年度還付金等の実績に伴うもので、44万2,000円を減額するものでございます。

以上で説明を終わります。御承認方よろしくお願いいたします。

○議長（塩釜俊朗議員） これから質疑を行います

質疑は全般にわたって行います。質疑はありませんか。8番、上園和信議員。

○8番（上園和信議員） やっぱり議案書の配布のことにも関連してきますが、この5ページですね、不当利得返還金、これ個人情報にも抵触をする恐れがあると思いますが、これについてちょっと説明を願えませんでしょうか。

○議長（塩釜俊朗議員） くらし保健課長。

○くらし保健課長 質問にお答えいたします。

この不当利得返納金につきましては、先ほど概要でも説明をしたところですが、通常、社会保険に加入した場合は国保脱退する手続きが必要でございまして、毎年国保だより等におきまして14日以内に手続きをするように今周知はさせていただいてるところですが、社会保険を取得した後にですねその国保をもちろん脱退の手続きをする必要があるんですけども、それを手続きを行いませんでした。そして、そのままその国保の保険証を使用したことによって、国保の療養費の方で、支払いを済まされておりますので、それが後からわかって、保険者間調整で社会保険からその分を返していただいたということで、特にこのことについて通常内の個人情報以外のものは、通常業務の範囲内でございますので、特に問題はないのかなというところで考えているところです。御理解をよろしくお願いいたします。

○議長（塩釜俊朗議員） 他に質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（塩釜俊朗議員） 質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（塩釜俊朗議員） 討論なしと認めます。

これから承認第3号を採決します。

お諮りします。本件は、これを承認することに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（塩釜俊朗議員） 異議なしと認めます。したがって、承認第3号は、これを承認することに決定しました。

日程第7 承認第4号 専決処分した事件の承認について

[令和6年度南種子町介護保険特別会計補正予算
(第6号)]

○議長（塩釜俊朗議員） 日程第7、承認第4号専決処分した事件の承認についてを議題とします。

当局の説明を求めます。くらし保健課長。

○くらし保健課長 承認第4号についてご説明申し上げます。

承認第4号は専決第4号で処分した、令和6年度南種子町介護保険特別会計補正予算(第6号)でございます。

表紙をお開きください。

今回の補正は、歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ228万円を減額し、予算の総額を歳入歳出それぞれ6億7,537万8,000円とするものでございます。

第1表の歳入歳出予算補正につきましては、省略させていただきます。

次に、歳入歳出補正予算事項別明細書により、主なものについてご説明させていただきます。

まず、歳入予算からご説明いたしますので、3ページをお開きください。

款の1保険料につきましては、被保険者の転出転入、資格取得等に伴いまして762万円を増額するものでございます。

次に、款の3使用料及び手数料督促手数料につきましては、収納見込みに伴うもので3,000円を減額するものでございます。

次に、款の4国庫支出金、3ページから4ページの款の5支払基金交付金、款6県支出金につきましては、介護給付及び地域支援事業の実績等による交付確定見込みに伴うもので、それぞれ補正をするものでございます。

次に款の10、4ページから5ページ。

繰入金、項の1、一般会計繰入金につきましては、介護給付費及び地域支援事業の実績等に伴うもので353万6,000円を減額するものでございます。

次に同繰入金、項の2基金繰入金につきましては、歳出予算の減額に伴い2,851万

2,000円を減額するものでございます。

次に、款の13項の2預金利子につきましては1万円を増額するものでございます。

次に、同諸収入の項の4雑入につきましては、各サービス利用者負担金の確定によるもので、3万5,000円を減額するものでございます。

次に、歳出を御説明いたします。

6ページをお開きください。

款の1総務費につきましては、執行残によるもので、総務費合計で57万9,000円を減額するものでございます。

次に、款の2、7ページから12ページ。保険給付費につきましては、各事業の給付実績に伴うもので、保険給付費合計で1,873万9,000円を減額するものでございます。

次に、款の5、12ページから15ページでございますが、地域支援事業費につきましては、各事業の実績に伴うもので、地域支援事業費合計で403万6,000円を減額するものでございます。

次に、款の6、15ページから16ページ、基金積立金につきましては2,122万8,000円を増額するものでございます。

次に、款の7公債費、款の8諸支出金につきましては、実績に伴い、それぞれ減額するものでございます。

以上で説明を終わります。御承認方よろしくお願いいたします。

○議長（塩釜俊朗議員） これから質疑を行います。質疑は全般にわたって行います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（塩釜俊朗議員） 質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（塩釜俊朗議員） 討論なしと認めます。

これから承認第4号を採決します。

お諮りします。本件は、これを承認することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（塩釜俊朗議員） 異議なしと認めます。したがって、承認第4号はこれを承認することに決定しました。

日程第8 承認第5号 専決処分した事件の承認について

〔令和6年度南種子町後期高齢者医療保険特別会計補正

予算（第5号）]

○議長（塩釜俊朗議員） 日程第8、承認第5号専決処分した事件の承認についてを議題とします。

当局の説明を求めます。くらし保健課長。

○くらし保健課長 承認第5号についてご説明申し上げます。

承認第5号は専決第5号で処分した、令和6年度南種子町後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第5号）でございます。

表紙をお開きください。

今回の補正は、歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ42万8,000円を減額し、予算の総額を歳入歳出それぞれ1億667万2,000円とするものでございます。

第1表歳入歳出予算補正につきましては、省略させていただきます。

次に、歳入歳出補正予算事項別明細書により、主なものについて御説明いたします。

まず、歳入予算からご説明いたしますので、3ページをお開きください。

款の1後期高齢者医療保険料につきましては、賦課更正等によるもので2万4,000円を減額するものでございます。

次に、款の2に使用料及び手数料につきましては、督促手数料の収納見込みに伴い、1,000円を減額するものでございます。

次に、款の4繰入金につきましては、事業費等繰入金の実績に伴うもので、22万9,000円を減額するものでございます。

次に、款の6、3ページから4ページ、諸収入につきましては、各保険事業確定に伴う収納見込み等に伴うもので、諸収入合計で17万4,000円を減額するものでございます。

次に、歳出をご説明いたします。

5ページをお開きください。

款の2後期高齢者医療広域連合納付金につきましては、納付金の実績見込みに伴うもので2万4,000円を減額するものでございます。

次に、款の3保健事業費につきましては、人間ドック補助の実績見込み等に伴うもので、31万7,000円を減額するものでございます。

次に、款の4諸支出金につきましては、保険料の過年度還付金の実績見込みに伴うもので8万7,000円を減額するものでございます。

以上で説明を終わります。御承認方よろしく願いいたします。

○議長（塩釜俊朗議員） これから質疑を行います。質疑は全般にわたって行います。質疑はありませんか。

[[「なし」と呼ぶ者あり]]

○議長（塩釜俊朗議員） 質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（塩釜俊朗議員） 討論なしと認めます。

これから承認第5号を採決します。

お諮りします。本件はこれを承認することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（塩釜俊朗議員） 異議なしと認めます。したがって、承認第5号は、これを承認することに決定しました。

日程第9 議案第29号 南種子町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する
条例制定について

○議長（塩釜俊朗議員） 日程第9、議案第29号南種子町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例制定についてを議題とします。

当局の説明を求めます。総務課長。

○総務課長 議案第29号についてご説明を申し上げます。

議案第29号は、南種子町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例制定についてございまして、地方自治法第96条第1項第1号の規定により議会の議決を求めるものでございます。

今回の改正は、宇宙のまち南種子としてロケット打ち上げ回数の増加が見込まれることや、ロケットコンテストなど各種イベント業務の増加により、全職員が協力をして従事することを目的にスペースサポート手当を、特殊勤務手当に追加することとし、新型コロナウイルス感染症の患者等への対応作業に従事した職員に対し支給する防疫手当の特例規定を削除するものでございます。

それでは、新旧対照表でご説明を申し上げます。新旧対照表をご覧ください。

まず、第2条は特殊勤務手当の種類に、第7号としてスペースサポート手当を追加するものでございます。

次に第8条は手当の支給対象と支給額を定めるものでございます。

第9条につきましては、手当を追加することによる条ずれに対応するものでございます。

附則、第2項及び第3項については、防疫手当の特例を削除するものでございます。

附則として、この条例は、令和7年5月1日から施行することとしております。

以上で説明を終わります。御審議方よろしくお願ひいたします。

○議長（塩釜俊朗議員） これから質疑を行います。質疑はありませんか。

4番、福島照男議員。

○4番（福島照男議員） 「SPACE TOWN南種子」宣言してですね、これから全国、世界に向けてですね本町の情報発信をしていくという中で、いろんな取り組み事業が活発に行っていかなければならない状態の中でですね、こういうスペース手当を創設するという事は、私は非常に異議のあることだと思って前向きに大変評価しております。

そこでですね、2点お尋ねをするわけですが、1点はこの5,000円の算出根拠ですね。私はもっと頑張って手当増やしてもいいのかなというふうに思ってるんですが、5,000円という数字をここに明記されてますので5,000円にした根拠ですね。それを1点お聞かせいただきたいのとです。

防疫手当が今回削除されるということなんですが、南海トラフ地震もですね、いつ起こるか分からないというような状況の中でですね、こういう大型災害についてやっぱり職員が先頭に立ってあたらなければならないわけですがこういうときの大型災害についたときの、特殊手当等の項目もですね、設けて、いざというときに即役に立つような条例制定も必要なのかなあとも思ったりするわけですね、そこらへんについて2点。町長にお伺いをいたします。

○議長（塩釜俊朗議員） 町長。

○町長 お答えをいたします。

根拠等については、後もって課長の方から答弁させたいと思いますが、私個人的には、本町の職員が非常に他の自治体と比較しましても、あらゆる取り組みをされておりますので、まずは全国一律でこの公務員企業というのが決まってくるけれども、このようなあり方が、果たして妥当なのかなというふうに私疑問を持っているところであります。常々そういうことを申し上げております。

しかしながらこれは、国であったり、県であったり、それぞれ指導を受けながらやる立場として、なかなか非常に難しいんだろうというふうに課長あたりからも言われるので、私はやっぱり、ここに優秀な職員の方々がたくさんやっぱり来ていただいて、町を活性化させる盛り上げていくためには、やはりこういう給与体系をしっかりとそこにみあったものであるべきだということはずっと申し上げておりますので、今後も可能な限りここはできるものがあればですね、検討して参りたいと思います。

その1つの一環として、今回は、私どもの町ならではのやっぱり取り組みがありますし、それだけの負担がかなり多いですから、そういう意味で今回特殊勤務手当というものを、これはもう設置するべきだというふうに思いました。

要は、これまでも県の宇宙開発促進協会、そして宇宙開発整備促進協あります。

そして種子島の宇宙開発の整備促進協もありまして、つい先日会議もありましたが

私はそこで申し上げたのは、今後打ち上げの回数が増えてくると。そして、ロケットはH-II A最終号機が6月24日打ち上げられまして、そしてその射点についてもまた整備拡充をして、そしてひと月にあわよくば2回打ち上げるようなそういうことも今言われておりますので、年間、日本でも30機ぐらい打ち上げるとかそういうもう民間も合わせてそういうふうなこと言われている状況でありますから、そういう意味では、しっかりとした個々の体制というのは構築をしていく必要があると思います。

7年度も5機が打ち上げが予定をされております。

そのあと打ち上げ回数が増えるということでもありますので、1回の打ち上げに対しまして私どもの町の方から職員が配置をして、それに対応するのは毎回50名以上であります。

そういうふうに肝付とかそこからも比較をされて、これまでもJAXAの上の方からもいろいろお話もありましたけれども、やっぱり取り組み方が全然違うようであります、一部は民間も入って一生懸命やってる、そういうことも言われます。

しかしながら、本町種子島において、鹿児島島においてこれがそれじゃそういうふうなことがすべてできるかっていうと、なかなかそういうふうな動きには今進展をしようとしておりませんので、そういう意味では、うちの町が今できることをしっかりやらんといかんだというふうに思います。

ただ打ち上げ時の職員の配置だけではございません。

これも打ち上げに合わせて数時間前から入ります。そして打ち上げ後をずっと駐車場から何か全部配置をしておりますので、時間もかなりの時間になりますけれども、それとあわせてその他に、数日前から打ち上げの成功を祈るそののぼり旗の配置であったり、それから終わってから今度は成功ののぼり旗に変えたりですね、回収をしたり、そういう作業が1つの一部の課だけでできるようなものでもありませんので、そういうものも含めてこういう支援体制は、これからしっかりやらなければならんのだと思いましたので、今回の提案をさせていただきました。

この宇宙開発の種子島の促進協についても私はもうアンケートもとりまして、今回も申し上げました。

必要性があるのかということ、たかだか10万ずつ出したそういう予算規模で、これ何の役割を果たしてるのかということ、もう提言を申し上げております。

その中で、これを解散ということをお願いしたところ、他市町、そして県の方も、このことについては、一緒になって、解散ではなくて何か協力をしっかりやる方向で検討するということでもありますので、今年1年は、しっかりとそれぞれの市町で、認識もどのように認識をされるのかそこはしっかりやって欲しいということをお願いして参りました。

また、その他にもですね、このロケット打ち上げに関しては、ロケットの衛生とか機体の運搬をするときに、ほとんど国道であったり県道とかここを通過して島間からずっと来るわけですけれども、その道路にかぶさる樹木の伐採であったり、これは打ち上げの三菱さん、JAXAさんと協議をしながらそういうものも対応しなければなりませんし、それをやってきております。

そういうものもしっかりと県にも伝えておりますので、こういうことがしっかりとやれる体制でないと、今後のこの打ち上げの支援というのは、それは打ち上げのJAXA、そして関連企業だけでやれというふうなことにはならないんだと思いますので、これは、宇宙センターを2ヶ所持っている鹿児島県としてもですね、一緒になって本当はしっかりと考えていく必要があるんだというふうに思います。

そういうことで、今回のこれについては、まずは、本町でできることを職員の皆さんにもご理解をいただいて、しっかりと取り組みをしていくということですのでご理解をいただきたいと思います。

根拠は、先ほどの点については、総務課長の方から答弁させたいと思います。

防疫の関係については災害の関係、また必要な部分についてはしっかりとまた検討をしながら、コロナの部分については一応終わったということでありましょうから、それはそれでまた検討はして参りたいというふうに思います。

○議長（塩釜俊朗議員） 総務課長。

○総務課長 質問にお答えをいたします。

まず、1点の5,000円の根拠でありますけれども、これについては、協力会の今出動の手当が5,000円近いということと、あと他の特殊勤務手当とのバランスというところで、具体的根拠については、こういったものを参考にして、今回を設定したところであります。

合わせてですけれども、この宇宙に全職員が関わっていくということで、職員のモチベーションにも繋がっていけばと思っておりますので、そういう意味で今回は5,000円に設定をさせていただいたところです。

それから、第2点目の大型災害時の特殊勤務手当の設定でありますけれども、この特殊勤務手当については、基本的にその給料に含まれる業務なのか、そうでない業務なのかというところがありまして、先ほど今回提案をしますスペースサポート手当については、他の自治体にはない南種子町独自の業務ということで、特殊勤務手当を設定してはありますが、災害時については基本的にすべての自治体はその業務に当たるということで、給与の中に含まれている。それ以外の部分は時間外手当等でしっかりと支給をしていきますので、大型災害時にこの特殊勤務手当を設定するというのは、今の段階では考えておりません。以上です。

○議長（塩釜俊朗議員） 他に質疑ありませんか。

8番、上園和信議員。

○8番（上園和信議員） いい取り組みですね、町長。私も高く評価をしたいと思えます。ロケットも打ち上げの回数も増えてくるし、それからイベント関係を増えてくると思うんです。でもこれにはもう職員の全面的な協力は欠かせないと。いうことで非常に良い取り組みというふう評価したいと思います。

これは勤務1月につきとなっておりますが、5,000円以内を支給すると。これを全職員を対象にして支給するのか、それとも対象担当課の職員について、支給するのか、これ1月を1日の書き間違いじゃないかなと思うんですけど。これちょっと金額にしてもちょっと安いような気もいたします。

今度の6月の24日のH-II A50号機については、午前1時の打ち上げになりますので、やっぱり深夜勤務とかそういうのも考慮しなければならないのじゃないかなということですね。勤務1月はこれ間違いないと思うんですがこれについて。と、それから全職員を対象にするのか、それとも、担当課の職員だけに支給するのかですね、そこら辺の見解をお聞かせください。

○議長（塩釜俊朗議員） 町長。

○町長 まず、これは全職員を対象にいたします。そして事前にちょっと今打診はしておりますけれども、ご了解をいただけるようでありますので、準備からいろんな先ほど申し上げたような取り組みについて、それぞれが量定を組み合わせながらも、毎回それぞれお手伝いいただけるようなそういう仕組みを構築をすることですので、そこは全職員を対象に支給するというをご理解いただきたいというふうに思います。

また、打ち上げ時の職員の配置については、これはまた協力は協力会でやるわけにありますけれども、これとこの手当はまた別物でありまして、そして、その打上げ時のときにもう今まで偏った職員だけでこうやるというのは非常に今後8機以上の打ち上げとかなったときにも大変な偏りになって参りますので、これもすべての皆さんがやっぱり一緒に協力をいただきながら、取り組める環境を作るという意味合いで全職員にお願いをしたいというふうに思っております。以上です。

○議長（塩釜俊朗議員） 他に質疑ありませんか。

○議長（塩釜俊朗議員） 質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（塩釜俊朗議員） 討論なしと認めます。

これから議案第29号を採決します。

お諮りします。

本件は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

- 議長（塩釜俊朗議員） 異議なしと認めます。したがって、議案第 29 号南種子町職員の特種勤務手当に関する条例の一部を改正する条例制定については、原案のとおり可決されました。

日程第 10 議案第 30 号南種子町水道事業職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例制定について

- 議長（塩釜俊朗議員） 日程第 10、議案第 30 号南種子町水道事業職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例制定についてを議題とします。

当局の説明を求めます。建設課長。

- 建設課長 議案第 30 号についてご説明いたします。

議案第 30 号は、南種子町水道事業職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例制定について、地方自治法第 96 条第 1 項第 1 号の規定により議会の議決を求めるものでございます。

この改正につきましては、議案第 29 号の改正理由と同じでございます。

それでは新旧対照表により、ご説明いたしますので、3 枚目の新旧対照表をお開きください。

第 2 条第 1 項中、水道業務手当の次に及びスペースサポート手当を加え、第 4 項、第 5 項を追加するものでございます。

2 枚目に戻りまして、附則として、この条例は令和 7 年 5 月 1 日から施行するものとしております。

以上で説明を終わります。ご審議方よろしく願います。

- 議長（塩釜俊朗議員） これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

- 議長（塩釜俊朗議員） 質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

- 議長（塩釜俊朗議員） 討論なしと認めます。

これから議案第 30 号を採決します。

お諮りします。本件は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（塩釜俊朗議員）異議なしと認めます。したがって、議案第 30 号南種子町水道事業職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例に制定については、原案のとおり可決されました。

○議長（塩釜俊朗議員） ここで 11 時 20 分まで暫時休憩をいたします。

午前 11 時 10 分

午前 11 時 19 分

○議長（塩釜俊朗議員） 休憩前に引き続き会議を開きます。

日程第 11 議案第 31 号 令和 7 年度南種子町一般会計補正予算（第 1 号）

○議長（塩釜俊朗議員） 日程第 11、議案第 31 号令和 7 年度南種子町一般会計補正予算（第 1 号）を議題とします。

当局の説明を求めます。総務課長。

○総務課長 議案第 31 号令和 7 年度南種子町一般会計補正予算（第 1 号）についてご説明を申し上げます。

予算書に基づいて説明をいたしますので、表紙をお開きください。

今回の補正は、先ほど議決をいただいた南種子町職員及び水道事業職員の特殊勤務手当を含む人事異動に伴う人件費の調整、物価高騰対策、子育て応援給付金事業や、子牛輸送支援事業など、緊急性の高い事業に対する所要額を補正するもので、予算の総額から歳入歳出それぞれ 484 万 1,000 円を減額し、予算の総額を歳入歳出それぞれ 74 億 6,315 万 9,000 円とするものでございます。

第 1 表の歳入歳出予算補正については省略をさせていただきます。

次に、歳入歳出補正予算事項別明細書により説明をいたします。

歳出予算から主なものについて説明しますが、人件費については省略をさせていただきます。

それでは、4 ページをお開きください。

議会費については、議場音響動画配信システム構築業務委託が主なもので、198 万 7,000 円を増額するものであります。

次に、7 ページ、児童福祉費については、物価高騰対策子育て応援給付金事業が主なもので、385 万 8,000 円を減額するものであります。

次に、8 ページから 10 ページ、農業費については、鳥獣被害対策実践事業子牛輸

送支援事業が主なもので、336万7,000円を増額するものであります。

次に12ページ、消防費については、熊毛地区消防組合負担金が主なもので、389万4,000円を減額するものであります。

次に13ページ、小学校費については、学校営繕工事が主なもので、792万円を増額するものでございます。

次に14ページ、繰出金については、各特別会計への繰り出しによるもので、248万8,000円を減額するものであります。

以上が歳出になります。

次に、歳入を説明いたしますので、3ページをお開きください。

国庫補助金については、特定防衛施設再編交付金によるもので330万円を増額するものです。

次に、県補助金については、鳥獣被害対策実践事業補助金によるもので、713万7,000円を増額するものです。

最後に、基金繰入金については、今回補正による財源調整の結果、財源に余裕が出たため、財政調整基金を繰り戻し、今回補正の事業に活用するため、農業振興基金からの繰り入れを行い、1,597万8,000円を減額するものです。

以上説明を終わりますが、説明不足或いは詳細については、この後の審議においてそれぞれの担当課長より説明を申し上げますので、ご審議方よろしくお願いいたします。

○議長（塩釜俊朗議員） これから質疑を行います。

質疑は款別に行います。

まず、歳出から款の1、議会費、4ページ、質疑ありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（塩釜俊朗議員） 款の2総務費、4ページから6ページ。質疑ありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（塩釜俊朗議員） 款の3民生費、6ページから7ページ。

質疑はありますか。4番、福島照男議員。

○4番（福島照男議員） 7ページですね、児童福祉総務費。ここで補助金で物価高騰対策子育て応援給付金事業、465万円を計上しております。財源は一般財源というところになっておるんですが、これの対象者と1世帯あたりの金額を教えてください。

あと、ここでもうこの事業を持ってきた意図、目的等についての説明をお願いいたします。

○議長（塩釜俊朗議員） 福祉事務所長。

○福祉事務所長 それではお答えいたします。

まず事業の概要について説明いたします。

この支給事業は、物価高騰による経済的支援として、小中学校及び特別支援学校に入学をする新1年生の保護者に対し、児童生徒1人につき5万円分のあば！Payポイントを付与するものでございます。

ただし、臨時的な給付事業であるため、事業実施については令和7年度のみといたし、来年度以降については、社会的な経済状況を考慮した上で必要に応じて対応していくこととなります。

次に、対象者につきましてですけれども、対象者につきましては、入学式前日の4月6日が基準日となり、小学1年生が53名、中学1年生が40名、特別支援学校入学者はゼロでございます。したがって合計93名となります。

以上でございます。

○議長（塩釜俊朗議員） 他に質疑ありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（塩釜俊朗議員） 次に、款の4衛生費、8ページ、質疑ありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（塩釜俊朗議員） 款6農林水産業費、8ページから10ページ、質疑はありませんか。8番 上園和信議員。

○8番（上園和信議員） ちょっと総務課長の説明もちょっと早かったみたいで、もっとゆっくりして欲しいです。農業振興費で、鳥獣被害対策実践事業に713万7,000円、それと子牛輸送支援事業に、426万4,000円を計上しておりますが、この説明を詳しくお願いいたします。

○議長（塩釜俊朗議員） 総合農政課長。

○総合農政課長 質問にお答えをします。

まず、鳥獣被害対策実践事業につきましては、例年、シカの捕獲対策事業ということで行っているんですが、今年度、国の方から増額の内報がありまして、今回追加で補正をしたところでございます。

追加の内容としましては、シカの捕獲に対しての専門的な人材の育成に関する研修会等の開催とか、あと専門家の招へい、それとシカの集合理設設備の整備、あと一番大きいのがシカの捕獲に対しての見回り軽減の装置の事業ということで、今まで罟を仕掛けて、定期的に毎日捕獲されてるか見に行かないといけなかったんですが、今回その装置をつけることで、携帯電話の方にシカがかかったときに通知が来て、その作業の効率化を図るということで、そういった事業を計画しております。

あと、子牛の輸送支援事業につきましては、これ先ほど総務課長の方からも説明がありましたとおり、離島ということで、購買者の方は子牛の輸送費がかかっておりま

す。本土と同じ条件で子牛の購入ができるように、輸送費用に対しての支援を購買者に行うものです。

昨年につきましては、大体、子牛がその競り市場から鹿児島本土まで、1頭当たり8,000円の費用がかかっておりまして、そのうち国の補助が4,600円程度かかっております。差額の3,400円につきましては、購買者負担ということになっております。

今回この購買者負担分につきましては、補助をするということで予算の計上をさせていただいております。

以上です。

○議長（塩釜俊朗議員） 町長。

○町長 少し加えたいと思いますけども、この子牛輸送の支援事業については、他の自治体でもいろいろ話が出ております。そして、3月には西之表の市議会でもご質問があったようでありまして、市長に対してですね、以前からこういう熊毛1市3町で取り組むべきではないかとかそういう話はあったようでございます。

しかしながら、なんか南種子の町長にも話をしたかとか、そういうことも言われたようでしたけれども、そのあとですね幹事会あたりでもそういう話はちょっとしていただいておりますが、なかなか前に進まないようでありまして、できれば私どもとしては早くこれを進めて少しでも同じ条件下の中で、子牛の価格がやっぱり本土と変わらないような競りをやっていただけるような環境というのはやっぱり早い方がいいのではないかということで、今回提案をしたというのが理由でございますので、ご理解をいただきたいというふうに思います。

○議長（塩釜俊朗議員） 8番、上園和信議員。

○8番（上園和信議員） 鳥獣被害対策実践事業については、シカの被害対策ということですが。ちなみにですね、令和6年度のシカの捕獲数、それを教えてください。

あと、ジビエ料理とかそういうのに利用できないものがですね。それとこの子牛輸送支援事業426万4,000円。これ、1頭8,000円を購買者に交付するということが、これ南種子町分の子牛を買った分についてのみの補助ということですか。

○議長（塩釜俊朗議員） 町長。

○町長 1頭当たりの輸送費が大体8,000円ぐらいということですが、一部補助があるようでありまして、その補助残の3,400円を購買者に補助をするということで、これは南種子町の子牛を購入された購買者に補助をするということになります。

○議長（塩釜俊朗議員） 総合農政課長。

○総合農政課長 お答えいたします。

まず、シカの捕獲頭数ですが、令和6年度で43頭を捕獲をしております。

あと、ジビエにつきましては、自家消費の分は幾ら食べてもいいんですが、やっぱ

り売るとなると、そういった加工施設が必要になりますので、現在の種子島にはそういう加工施設がございませんので、商売として料理をするってのはできない状況です。

○議長（塩釜俊朗議員） 他に質疑ありませんか。9番、濱田一徳議員。

○9番（濱田一徳議員） 子牛の輸送支援ということで、私は非常にこれはいいことだなと思っております。というのもですね、やはり本土から来て、こっちから牛を買っていくにしても、輸送費がどうしてもこの離島の場合は、かかるんですよ。これを本土並みに持っていくということであればですね、購買者の意欲をかき立てるというのも1つのねらいだと思います。今、南種子町の牛を買った場合という前提のもとにこの予算を組んでいますけども、できることなら町長、屋久島も含めてですね、この種子島屋久島で同じような取り組みができるようにですね、ぜひ働きかけてもらいたいと思います。

以上です。

○議長（塩釜俊朗議員） 町長。

○町長 先ほども申し上げましたが、いろいろ話はこれまでも出ているようでありましてけれども、組長間で、またそういう話が今できているわけではありません。ただ事務レベル、この幹事会レベルで話はしているようでありましてけれども、これがなかなか進まないということでもありますから、まずは、私どもが5月からこれをスタートさせて、そして、これをやっぱり熊毛でしっかりとできる環境は整っていくべきだと思いますので、そうなるように、これから私も話をしていきたいというふうに思います。

○議長（塩釜俊朗議員） 他にありませんか。

4番、福島照男議員。

○4番（福島照男議員） 関連質問です。まず鳥獣対策についてですが、今年度、国の方から追加予算がおりにきたということで、ですね、当初予算でも、これ540万にながしの予算を組んでいたわけですが今回は713万円か、追加でこられるということで大変ありがたいなと思ってます。

この予算、今年度、単年度で終わるのか、次年度もですねも同様にこれ千二、三百万の予算申請が可能なのかどうか見通しがあればですね。教えていただきたいのと、追加については対策を強化できるということですね非常にありがたいなと思ってますので、強化が継続できるようにですね、次年度の予算申請も合わせてですね、見直しをお願いいたします。

あと、この子牛輸送支援事業ですが、今年、令和7年に入ってですね、子牛の競り状況も非常に単価的にも、状況を良くなってきてですね、生産農家の顔もご安堵感が見られるような形になってきておましてですね、合わせて町としてこういう支援体制を組めるということはね、二重に期待が膨らむところでもあります。

私は、海上輸送費については、全額国からの支援輸送費で賄っておるのかなというふうに思ってたんですが、さっき町長の答弁では、4,600円しかできてなかったということでこれ私のちょっと認識不足でありました。

海上輸送費は、国で賄っているので私は逆に本土から県外への購買者が買いにきたときの助成かなと思ってたんですが、若干内容としては違ったようであります。

県外の購買者からも結構関心が高い分でありますので、そこら辺についての対応であるとかですね、あと購買者が、たくさん来れば来るほどですね、子牛の競り単価が上がっていくような傾向にあるようでありますので、そこら辺も含めてですね、本町の畜産部会を中心にですね購買者の誘致、例えばあとは情報交換の場とかですね、積極的に設けていって1人2人あそこに増えるだけでもですね、なんかボタンの押す回数で上がるらしいですね。そこら辺の対策もですね今後はとっていけばですね、さらにいい方向になるのかなと思ったりするんですが。

そこら辺についての取り組みも若干聞かせていただければと思います。

○議長（塩釜俊朗議員） 町長。

○町長 この県外の購買者につきましては、JAさんの方からも一部旅費の助成をしたり、そういうことはやっておられるようであります。

すべてではありませんが、前回天候が急遽悪くなって、直前に競りが延期になったというときがありました。

しかし、もうすでに入っておられる方もあっていろいろあったようであります。

そこら辺がそういう連絡体制というかそういうものをしっかりとやっぱりやっぺいかなないと、ちょっとトラブったということも私も話を伺っていますが、一部そういう購買者の方が、前回の時にはこちらに来ていただけてない状況を私もそういうお話を聞きました。

ですのでやっぱり来ていただける購買者の方をしっかりと大切にすることというのは一番重要なことだと思います。

また、本町の方の牛を毎回競りごとに、大体70頭前後を毎競りのたびに買っただけの方もおります。

ですので、そういう方々とはいろんな私どもの畜産センターであったり、そういうところの指導もいろいろもらったりしてるところもあるんですけども、全体での購買者との意見交換会も年に数回ですけどそういうのもあるんですけども、やっぱりそういうしっかりとした連携が図れるような状況というのがやっぱり大切だと思いますので、これはJAを中心に、そしてまたやっぱり1市3町でそういうものはしっかりとやっぺいいただけるように、これは今後も事務方の方でもそういう意見の交換をしながら、気づいていただけるもんだと思いますので、そのようにして参りたいと思います。

○議長（塩釜俊朗議員） 他に質疑ありませんか。総合農政課長。

○総合農政課長 質問にお答えをいたします。

鳥獣対策の次年度の予算の見通しにつきましては、これについては国の全体の予算が決まっています、全国の市町村からの要求に応じて国の方が配分をされることだと思います。

次年度におきましても必要な予算については、国の方に要求していきたいというふうに思います。

あと、購買者の誘致の件については、町としても大変大事なことだと思っております、今年度、購買者の誘致活動について、計画をしておりますので、取り組みたいと思っております。

○議長（塩釜俊朗議員） よろしいですか。他に質疑ありませんか。

○議長（塩釜俊朗議員） 款の7 商工費。

10 ページから 11 ページ。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（塩釜俊朗議員） 款の8 土木費、11 ページ。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（塩釜俊朗議員） 款の9 消防費、12 ページ。

質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（塩釜俊朗議員） 款の10 教育費、12 ページから 14 ページ。

質疑ありませんか。2 番、野首久教議員。

○2 番（野首久教議員） 13 ページの学校営繕費について質問をいたします。392 万 9,000 円、小学校営繕工事となっておりますけれども、具体的な説明をお願いします。対象となる学校、そしてどんな営繕をやるのか。それについてよろしくをお願いします。

○議長（塩釜俊朗議員） 管理課長。

○管理課長 小学校の営繕工事につきましては、中平小学校の特別支援教室の空調設備になります。中平小学校において、特別支援学級が増えたことに伴って、新たに空調設備を設置するものです。以上です。

○議長（塩釜俊朗議員） 他に質疑ありませんか。

4 番福島照男議員。

○4 番（福島照男議員） この補正金額で直接はあたらないんですが、今、荃南小学校の新築工事がスタートしております。現状の進捗状況を教えていただけますか。

○議長（塩釜俊朗議員） 管理課長。

○管理課長 荃南小の校舎建て替えにつきまして、現状を説明したいと思います。

今現在ですね、敷地の造成と屋外プールの解体工事を進めております。これについては7年度末を予定としているところです。7年度の工事につきましては、校舎本体の建設工事を予定をしております。

その後については校舎本体、それから附属の建物、今ある校舎の解体、そういったものを令和8年度以降進めていく予定になっております。

○議長（塩釜俊朗議員） 12ページから14ページ他に質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（塩釜俊朗議員） 款の13、諸支出金14ページ、質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（塩釜俊朗議員） 次に歳入です。款の14、国庫支出金から款の18繰入金、3ページ一括して質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（塩釜俊朗議員） 次に全般にわたって質疑ありませんか。

9番、濱田一徳議員。

○9番（濱田一徳議員） 先ほどちょっと手を挙げそこねてしまいました。

款の9の消防費ですね、3月に西之で行方不明者が出ましたけども、あの際、消防関係の方が湖の中を捜索するのに、赤外線何かあれがあればいいんだという。現場でそういう話が出ておりましたけども、今回はそういうこの予算の組む中でですね、そういう要望はございませんでしたでしょうか。

○議長（塩釜俊朗議員） 総務課長。

○総務課長 お答えいたします。

今回のこの消防費諸費経費につきましては、捜索の3月にあった捜索のことを踏まえてですね、ドローン2機の購入をしたいということで、やはり山林なども含めてですね、捜索がなかなか人が入れない場所があるということで、サーモグラフィ付きのドローンを2機購入したいということで、再編交付金を活用して、今回予算の提案をしているところでございます。

以上です。

○議長（塩釜俊朗議員） 他に質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（塩釜俊朗議員） 質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（塩釜俊朗議員） 討論なしと認めます。

これから議案第31号を採決します。

お諮りします。本件は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

- 議長（塩釜俊朗議員） 異議なしと認めます。したがって、議案第31号令和7年度南種子町一般会計補正予算（第1号）は原案のとおり可決されました。

日程第12 議案第32号 令和7年度南種子町国民健康保険事業勘定特別会計
補正予算（第1号）

- 議長（塩釜俊朗議員） 日程第12、議案第32号令和7年度南種子町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）を議題とします。

当局の説明を求めます。くらし保健課長。

- くらし保健課長 議案第32号令和7年度南種子町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）についてご説明申し上げます。

表紙をお開きください。

今回の補正は、4月1日付け人事異動に伴う人件費の補正で、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ217万6,000円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ7億8,417万6,000円とするものでございます。

第1表の歳入歳出予算補正につきましては、省略させていただきます。

次に、歳入歳出予算事項別明細書により主なものについて、歳入予算からご説明いたしますので、3ページをお開きください。

款の6 県支出金につきましては、県繰入金第2号分、7万2,000円を増額するものでございます。

次に、款の10 繰入金につきましては、職員給与等繰入金が主なもので、210万4,000円を増額するものでございます。

次に、歳出をご説明いたします。

4ページをお開きください。

款の1 総務費につきましては、職員給料及び諸手当が主なもので、203万2,000円を増額するものでございます。

款の6 保健事業費につきましては、会計年度任用職員、退職手当組合負担金14万4,000円を増額するものでございます。

以上で説明を終わります。ご審議方よろしくお願ひいたします。

- 議長（塩釜俊朗議員） これから質疑を行います。質疑は全般にわたって行います。質疑はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

- 議長（塩釜俊朗議員） 質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（塩釜俊朗議員） 討論なしと認めます。

これから議案第 32 号を採決します。

お諮りします。本件は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（塩釜俊朗議員） 異議なしと認めます。したがって、議案第 32 号令和 7 年度南種子町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第 1 号）は原案のとおり、可決されました。

日程第 13 議案第 33 号 令和 7 年度南種子町介護保険特別会計補正予算（第 1 号）

○議長（塩釜俊朗議員） 日程第 13、議案第 33 号令和 7 年度南種子町介護保険特別会計補正予算（第 1 号）を議題とします。

当局の説明を求めます。くらし保健課長。

○くらし保健課長 議案第 33 号、令和 7 年度南種子町介護保険特別会計補正予算（第 1 号）についてご説明申し上げます。

表紙をお開きください。

今回の補正は、4 月 1 日付け及び 4 月 21 日付け人事異動に伴う人件費の補正で、歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ 537 万 7,000 円を減額し、予算の総額を歳入歳出それぞれ 6 億 8,462 万 3,000 円とするものでございます。

第 1 表の歳入歳出予算補正につきましては、省略させていただきます。

次に、歳入歳出補正予算事項別明細書により、主なものについて、歳入予算からご説明をいたしますので、3 ページをお開きください。

款の 10 繰入金につきましては、給与等繰入金 537 万 7,000 円を減額するものでございます。

次に、歳出をご説明いたします 4 ページをお開きください。

款の 1 総務費につきましては、職員給料及び諸手当が主なもので 537 万 7,000 円を減額するものでございます。

以上で説明を終わります。ご審議方よろしくお願ひいたします。

○議長（塩釜俊朗議員） これから質疑を行います。質疑は全般にわたって行います。質疑はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（塩釜俊朗議員） 質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（塩釜俊朗議員） 討論なしと認めます。

これから議案第 33 号を採決します。

お諮りします。本件は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（塩釜俊朗議員） 異議なしと認めます。したがって、議案第 33 号令和 7 年度南種子町介護保険特別会計補正予算（第 1 号）は原案のとおり、可決されました。

日程第 14 議案第 34 号 令和 7 年度南種子町後期高齢者医療保険特別会計補正
予算（第 1 号）

○議長（塩釜俊朗議員） 日程第 14、議案第 34 号令和 7 年度南種子町後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第 1 号）を議題とします。

当局の説明を求めます。くらし保健課長。

○くらし保健課長 議案第 34 号、令和 7 年度南種子町後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第 1 号）についてご説明申し上げます。

表紙をお開きください。

今回の補正は、4 月 1 日付け人事異動に伴う人件費の補正で、歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ 96 万 5,000 円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ 1 億 866 万 5,000 円とするものでございます。

第 1 表の歳入歳出予算補正につきましては省略させていただきます。

次に、歳入歳出補正予算事項別明細書により、主なものについて歳入予算からご説明いたしますので、3 ページをお開きください。

款の 4 繰入金につきましては、事務費等繰入金 96 万 5,000 円を増額するものでございます。

次に、歳出をご説明いたします。

4 ページをお開きください。

款の 1、総務費につきましては、職員給料及び諸手当が主なもので、96 万 5,000 円を増額するものでございます。

以上で説明を終わります。ご審議方よろしくお願いいいたします。

○議長（塩釜俊朗議員） これから質疑を行います。

質疑は全般にわたって行います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（塩釜俊朗議員） 質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（塩釜俊朗議員） 討論なしと認めます。

これから議案第34号を採決します。

お諮りします。本案本件は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（塩釜俊朗議員） 異議なしと認めます。したがって、議案第34号令和7年度南種子町後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第1号）は原案のとおり可決されました。

日程第15号 議案第35号 令和7年度南種子町水道事業会計補正予算（第1号）

○議長（塩釜俊朗議員） 日程第15号、議案第35号令和7年度南種子町水道事業会計補正予算（第1号）を議題とします。

当局の説明を求めます。建設課長。

○建設課長 議案第35号令和7年度南種子町水道事業会計補正予算書（第1号）についてご説明申し上げます。

予算書1ページをお開きください。

第2条は収益的収入及び支出の既決予定額を補正するもので、支出を1,028万4,000円減額し、2億5,571万5,000円とするものでございます。

第3条は、議会の議決を経なければ流用することのできない経費の既決予定額を補正するもので、職員給与費を1,028万4,000円減額し、1,748万2,000円に改めるものでございます。

2ページについてはお目どおしをお願いいたします。

3ページをお開きください。

予算事項別明細書についてご説明いたします。

収益的支出になります。

款の2水道事業費用、項の1営業費用について、4月1日付けの人事異動に伴い、目の4総係費を1,028万4,000円減額するものでございます。

以上で説明を終わります。ご審議方よろしくをお願いいたします。

○議長（塩釜俊朗議員） これから質疑を行います。

質疑は全般にわたって行います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（塩釜俊朗議員） 質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（塩釜俊朗議員） 討論なしと認めます。

これから議案第 35 号を採決します。

お諮りします。本件は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（塩釜俊朗議員） 異議なしと認めます。したがって、議案第 35 号令和 7 年度南種子町水道事業会計補正予算（第 1 号）は原案のとおり可決されました。

日程第 16 同意第 1 号 固定資産評価員の選任について

○議長（塩釜俊朗議員） 日程第 16、同意第 1 号固定資産評価員の選任についてを議題とします。

当局の説明を求めます。町長。

○町長 同意第 1 号についてご説明を申し上げます。

同意第 1 号は、固定資産評価員の選任について同意を求めるものであります。

住所は、南種子町中之上 3132 番地 13。氏名は、小川浩輝であります。

本件は、固定資産の評価に関する地域及び経験を有するものとして、税務課長を選任しているもので、令和 7 年 4 月 1 日付の人事異動に伴い、新たに税務課長を選任いたしたく同意をお願いするものであります。

よろしく願いいたします。

○議長（塩釜俊朗議員） これから質疑を行います。質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（塩釜俊朗議員） 質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（塩釜俊朗議員） 討論なしと認めます。

これから同意第 1 号を採決します。

お諮りします。本件は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（塩釜俊朗議員） 異議なしと認めます。したがって、同意第 1 号固定資産評価員の選任については原案のとおり可決されました。

○議長（塩釜俊朗議員） 日程第 17 以降の議事については、議会の委員会構成の変更に伴う議事となることから、執行部の皆さんについては、日程第 22 まで、休憩とし退席されて結構です。終わり次第、庁内放送を行いますので、出席をお願いいたします。

ここで暫時休憩します。

午前 11時57分

午後 00時57分

○議長（塩釜俊朗議員） 休憩前に引き続き会議を開きます。

日程第17 選任第1号 常任委員の選任

○議長（塩釜俊朗議員） 日程第17、選任第1号常任委員の選任を行います。

お諮りします。

常任委員の選任については、委員会条例第7条第1項の規定によって、お手元に配付の名簿のとおりであります。

総務文教委員会の野首久教議員、柳田 博議員、大崎照男議員 上園和信議員、塩釜俊朗議員。

産業厚生委員会、川内田行博議員、平島 強議員、福島照男議員、名越多喜子議員、濱田一徳議員。

以上を指名したいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（塩釜俊朗議員） 異議なしと認めます。したがって、常任委員はお手元に配付の名簿のとおり選任することに決定しました。

これより各常任委員会の正副委員長を互選していただきます。委員会の会場を次のとおり定めます。総務文教委員会第1委員会室。産業厚生委員会、第2委員会室と定めます。

ここで暫時休憩します。

午後 00時58分

午後 01時38分

○議長（塩釜俊朗議員） 休憩前に引き続き会議を開きます。

各常任委員会の委員長及び副委員長が次のとおり決定した旨、通知を受けましたのでお知らせをいたします。

総務文教委員長、野首久教議員。副委員長、柳田 博議員。

産業厚生委員長、福島照男議員。副委員長、平島 強議員。

日程第 18 選任第 2 号 議会運営委員の選任

○議長（塩釜俊朗議員） 日程第 18、選任第 2 号議会運営委員の選任を行います。議会運営委員の選任については、委員会条例第 7 条第 1 項の規定によってお手元に配付の名簿のとおりであります。

この名簿のとおり指名をしたいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（塩釜俊朗議員） 異議なしと認めます。したがって、議会運営委員は、お手元に配付の名簿のとおり選任することに決定しました。

これより議会運営委員会の正副委員長を互選していただきます。

○議長（塩釜俊朗議員） ここで暫時休憩します。

○議長（塩釜俊朗議員） 休憩前に引き続き会議を開きます。

議会運営委員会の委員長及び副委員長が互選されましたのでお知らせをいたします。委員長、柳田 博議員。副委員長、名越多喜子議員が決定をされました。

日程第 19 選挙第 1 号 中南衛生管理組合議会議員の選挙

○議長（塩釜俊朗議員） 日程第 19、選挙第 1 号中南衛生管理組合議会議員の選挙を行います。

本件は、濱田一徳議員及び野首久教議員の中南衛生管理組合議会議員の辞職に伴い、後任の選挙を行うものであります。

お諮りします。選挙の方法については、地方自治法第 118 条第 2 項の規定によって指名推選したいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（塩釜俊朗議員） 異議なしと認めます。したがって、選挙の方法は指名推選で行うことに決定しました。

お諮りします。指名の方法については議長が指名することにしたと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（塩釜俊朗議員） 異議なしと認めます。したがって、議長が指名することに決定しました。

中南衛生管理組合議会議員に濱田一徳議員、平島 強議員を指名します。

お諮りします。

ただいま議長が指名しました濱田一徳議員と平島 強議員を中南衛生管理組合議会

議員の当選人と定めることに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（塩釜俊朗議員） 異議なしと認めます。したがって、ただいま指名しました濱田一徳議員と平島 強議員が中南衛生管理組合議会議員に当選されました。

ただいま当選されました濱田一徳議員と平島 強議員が議場におられますので、会議規則第 33 条第 2 項の規定によって、当選の告知をいたします。

日程第 20 選挙第 2 号 公立種子島病院組合議会議員の選挙

○議長（塩釜俊朗議員） 日程第 20、選挙第 2 号公立種子島病院組合議会議員の選挙を行います。

本件は福島照男議員及び川内田行博議員の公立種子島病院組合議会議員の辞職に伴い、後任の選挙を行うものであります。

お諮りします。選挙の方法については、地方自治法第 118 条第 2 項の規定によって、指名推選したいと思えます。御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（塩釜俊朗議員） 異議なしと認めます。したがって、選挙の方法は指名推選で行うことに決定しました。

お諮りします。

指名の方法については議長が指名することとしたいと思えます。御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（塩釜俊朗議員） 異議なしと認めます。したがって、議長が指名することに決定しました。

公立種子島病院組合議会議員に福島照男議員と川内田行博議員を指名します。

お諮りします。

ただいま議長が指名しました福島照男議員と川内田行博議員を公立種子島病院組合議会議員の当選人と定めることに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（塩釜俊朗議員） 異議なしと認めます。したがって、ただいま指名しました福島照男議員と川内田行博議員が公立種子島病院組合議会議員に当選されました。

ただいま当選されました福島照男議員と川内田行博議員が議場におられますので、会議規則第 33 条第 2 項の規定によって、当選の告知をいたします。

日程第 21 選挙第 3 号 熊毛地区消防組合議会議員の選挙

○議長（塩釜俊朗議員） 日程第 21、選挙第 3 号熊毛地区消防組合議会議員の選挙を行います。

本件は、大崎照男議員の熊毛地区消防組合議会議員の辞職に伴い、後任の選挙を行うものであります。

お諮りします。

選挙の方法については、地方自治法第 118 条第 2 項の規定によって、指名推選したいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（塩釜俊朗議員） 異議なしと認めます。したがって、選挙の方法は指名推選で行うことに決定しました。

お諮りします。

指名の方法については、議長が指名することにしたいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（塩釜俊朗議員） 異議なしと認めます。したがって、議長が指名することに決定しました。

熊毛地区消防組合議会議員に、野首久教議員を指名します。

お諮りします。

ただいま議長が指名しました野首久教議員を熊毛地区消防組合議会議員の当選人と定めることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（塩釜俊朗議員） 異議なしと認めます。したがって、ただいま指名しました野首久教議員が熊毛地区消防組合議会議員に当選されました。

ただいま当選されました野首久教議員が議場におりますので、会議規則第 33 条第 2 項の規定によって、当選の告知をいたします。

日程第 22 選挙第 4 号 種子島産婦人科医院組合議会議員の選挙

○議長（塩釜俊朗議員） 日程第 22、選挙第 4 号種子島産婦人科医院組合議会議員の選挙を行います。

本件は、濱田一徳議員の種子島産婦人科医院組合議会議員の辞職に伴い、後任の選挙を行うものであります。

お諮りします。

選挙の方法については、地方自治法第 118 条第 2 項の規定によって指名推選にしたいと思います。御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（塩釜俊朗議員） 異議なしと認めます。したがって、選挙の方法は指名推選で行うことに決定しました。

お諮りします。

指名の方法については議長が指名することとしたいと思います。御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（塩釜俊朗議員） 異議なしと認めます。したがって、議長が指名することに決定しました。

種子島産婦人科医院組合議会議員に濱田一徳議員を指名します。

お諮りします。

ただいま議長が指名しました、濱田一徳議員を種子島産婦人科医院組合議会議員の当選人と定めることに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（塩釜俊朗議員） 異議なしと認めます。したがって、ただいま指名しました濱田一徳議員が種子島産婦人科医院組合議会議員に当選されました。

ただいま当選されました濱田一徳議員が議場におられますので、会議規則第33条第2項の規定によって、当選の告示をいたします。

—————・—————

○議長（塩釜俊朗議員） 暫時休憩をいたします。再開を14時20分にいたしたいと思います。

—————・—————

午後 2時12分

午後 2時19分

—————・—————

○議長（塩釜俊朗議員） 休憩を閉じて再開をいたします。

—————・—————

閉 会

○議長（塩釜俊朗議員） 以上で本日の議事日程は全部終了しました。

会議を閉じます。令和7年第2回南種子町議会臨時会を閉会します。ご苦労さまでした。

—————・—————

閉 会 午後 2時19分

地方自治法第123条第2項によりここに署名する。

南種子町議会議長 塩 釜 俊 朗

南種子町議会議員 平 島 強

南種子町議会議員 福 島 照 男